

留学先大学： グラーツ大学留学先での所属学部・研究科： Germanistik Philosophie留学先での在籍身分： 交換留学生 Bachelor留学期間： 2013 年 10 月～ 2014 年 7 月神戸大学での所属学部・研究科： 文学部・哲学専修学年（出発時）： 3本報告書記入日： 2014 年 7 月 8 日**授業について**

留学中に履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習, 復習, テスト等についてアドバイスも含めて教えてください。
1	German Waystage 4b, Level A2/2nd Phase	Simschitz Birgit	1	3	20名 程度	中間・期末テストと課題と出席点
2	German Waystage 3, Intensive, Level A2/1st Phase	Mandl Christa	2	6	20名 程度	中間・期末テストとプレゼンと課題と出席点
3	German Threshold 1, Level B1/1st Phase	Eibel Albert	1	3	20名 程度	中間・期末テストと課題と出席点 会話中心
4	German Threshold 2b, Level B1/2nd Phase	Biernatzki Claudia	1	3	20名 程度	中間・期末テストと課題と出席点
5	Philosophy of Mind - Introduction	Borgoni Goncalves Cristina	1	4	25名 程度	予習必須、期末テストとレポート
6	Introduction to Philosophy	Smith, Sheena Kathleen	1	4	25名 程度	予習必須、期末テスト
7	Climate Justice	Meyer Lukas	1	4	50名 程度	期末テスト
8	Introduction to Philosophy of Science	Wiltzsche Harald	1	4	60名 程度	期末テスト
9						
10						

授業（カリキュラム等）のクラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

成績評価に関しては、授業のレベルが上がるにつれて厳しくなるように感じた。  
 現地学生は授業中の発言・質問を積極的に行っており、講義の授業でも議論になることがしばしばあった。

**費用について**

留学期間を通して必要だった費用を記入してください。（概算で結構ですので、円価で記入してください。）

・航空運賃： 往復12万程度・住居費：（月額） 40,000 ×（留学月数） 10 ヶ月 = 400,000・食費：（月額） 20,000 ×（留学月数） 10 ヶ月 = 200,000・保険料： 200,000円（現地と日本の保険料の合計）・その他： 100,000円程度合計： 1,000,000円程度（留学期間全体の費用）

## その他 自由に記入してください。（800字～）

今回の留学では、日本で学生生活を送ってはいられない多くの経験をする事ができた。異国の地で慣れない不自由な生活の中で、決して楽しいことばかりではなかったが、それらの経験も非常に貴重なものであったように思う。

異なる文化を持つ社会の中に身を置くことによって、これまで日本の社会で生きてくことで培われた常識や道徳観、文化、社会のあり方などを見つめなおすきっかけとなった。このことは、哲学を学ぶ学生として、また一人の人間として大きな意味があると思う。個人的には留学生としての学業面での成果や現地の方々や他国からの留学生と仲良くなり、国際交流を深めるということ以上に大きな収穫であった。また、このことを日本からの留学生の方々と共有し深められたことも貴重な体験だった。留学生どうしであるという特殊な状況でなければできないことであったと思う。

また、異なる文化圏の政治経済、宗教、芸術、音楽、自然などを少しずつではあるが、肌で感じる事ができたこともありがたい経験だった。これらのことは非常に漠然としたものではあるが、確実に自分の感性や知識を広げてくれたと思う。また、インターネットやテレビを通して情報を得るだけではなく、体験することの重要性を実感する事ができた。

また、日本という国の政治経済、文化、伝統などについてもっと知る必要があると感じた。現地の学生や欧米からの留学生は日本に対してほとんど知識を持っていない、あるいは偏った知識を持っていることが多かったが、その人たちに日本の文化を伝えられるほど自分自身が日本についての知識がないことを恥ずかしく思った。逆に、日本に興味を持っている人たちの中には、特定の分野で日本人以上に日本に関する知識を持っている人もおり、自分を恥ずかしく思うことも多々あった。留学を通して得た知識や、海外から見た日本という視点を絡めて、日本のことを海外の人達に、また日本人に伝えられたらいいと思う。